

ここが聞きたい!  
いっぱん

# 質問

## 土地を離れず住める地域に

川西明德 議員

**町長** 地域を<sup>ついで</sup>終の棲み家にする  
理念は大事だ



**問** 高齢者が住みなれた土地を離れることなく住める小規模分散型の低家賃の住宅建設が地域、社会全体を再建する上で欠かせないと考えるが、**答** 地域を終の棲み家については、極めて大事な理念だ。行政だけではなく、医療や保健、介護の各関係機関が連携しながら地域全体で高齢者をケアしていく地域包括ケアに向けた取り組みが大事である。この地域ケア会議を中心に連携を深めたい。

**問** 農政見直しは誰もが不安に思っている。日本農業を効率最優先の立場だけから見た政策転換だと思いが、**答** 農政の見直しは、不

安に思っている。地域農業の存続自体を危ふむ。国が示す農業政策を注視しながら、本町の農政に反映させていく。

**問** 政府は減反廃止でなく、米の需給の安定に責任を果たすことが肝心と考えるが、**答** 国益である農業を守る仕組みは、国が責任を果たすことが重要だ。正月明けの1月には、農村振興局長以下幹部と意見交換する。地域農業を担っている町民の声をしっかりと届けたい。

**問** TPP、生産調整廃止、農協潰しが一体である。TPPが妥結され、米の輸入がふえれば、水田の生産調整は崩壊し、その実施に必要なだった農協組織が国にとって不必要になる。米に依存してきた農協の事業はますます窮地に陥る。農地の面でも、農地中間管理機構で国県が管理することになると、農協と農業委員会が排除されると考えるが、**答** 農地中間管理機構は、

今後運用の具体性を見きわめながら、適切に対応する。今後も引き続き有利な支援制度を活用し、農、農業委員会、JAなどと連携を図りながら、地域農業を守っていく。

**問** 子育て会議の進捗状況について、**答** 子育て支援対策課長 奥出雲町子ども子育て会議を設置した。委員は公募もし、保護者や町内企業、幼稚園、小中学校、民生委員の代表、学識経験者など、男女比、年齢等のバランスに考慮した。第1回は概要や子育て支援の現状説明。第2回は支援事業計画作成に必要なニーズ調査内容の具体的な審議をした。対象世帯は64世帯。

**問** 介護保険の見直しは、社会保



子ども・子育て支援新制度で想定されるさまざまな施設

障費削減ありきで制度改善に固執するもので、持続可能性の確保を理由に手当たり次第の給付減と負担増を盛り込んでいるが、

**答** 野原健康福祉課長 従来の議論を見直して修正、従来どおりのサービスが提供できる。いましばらく国における議論の推移を見守りたい。法律の範囲内で現在のサービスを低下させないよう最大限の努力を惜しまない。